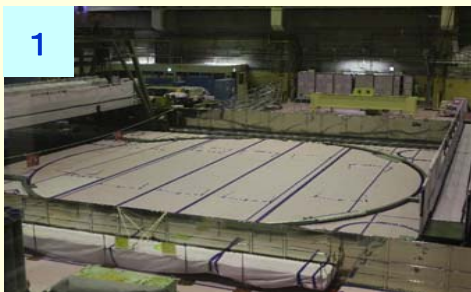


# 福島第二原子力発電所 1号機 原子炉開放作業の完了について

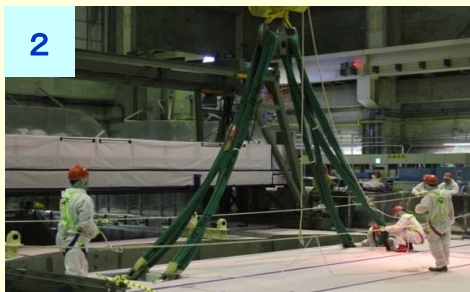
当所1号機では、5月12日より原子炉開放作業を開始し、順次、コンクリートハッチ、原子炉格納容器の蓋、原子炉圧力容器の蓋、蒸気乾燥器、気水分離器の取り外しを行い、5月27日、原子炉開放作業が完了しました。

原子炉内に装荷されている燃料の使用済燃料プールへの移動については、6月2日より開始する予定です。

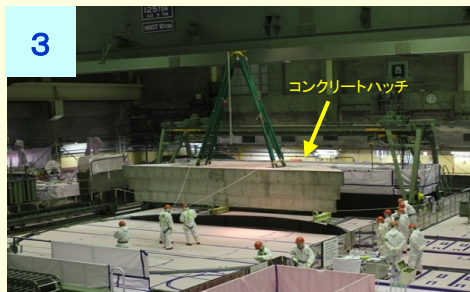
## ●原子炉開放作業の流れ（作業実績）



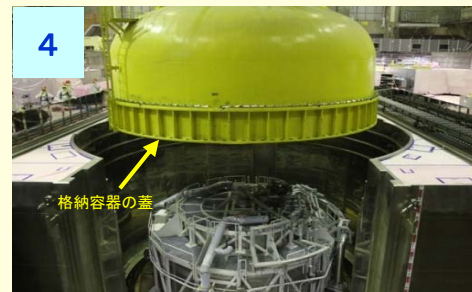
原子炉開放作業前の様子  
(平成26年5月7日撮影)



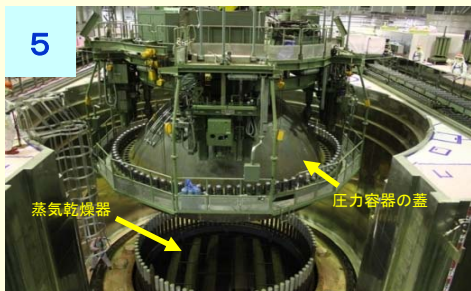
コンクリートハッチの取り外しの様子  
(平成26年5月12日撮影)



コンクリートハッチの取り外しの様子  
(平成26年5月12日撮影)



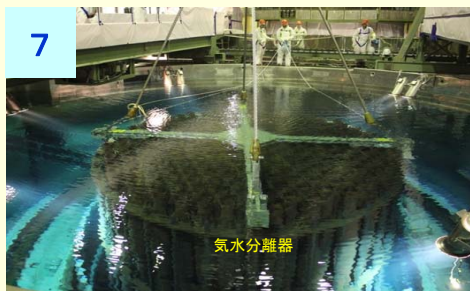
原子炉格納容器 蓋の取り外しの様子  
(平成26年5月13日撮影)



原子炉圧力容器 蓋の取り外しの様子  
(平成26年5月20日撮影)



蒸気乾燥器の取り外しの様子  
(平成26年5月26日撮影)



気水分離器の取り外しの様子  
(平成26年5月27日撮影)



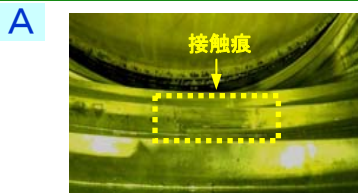
原子炉開放作業後の様子  
(平成26年5月27日撮影)

## ●確認された主な不具合箇所

今回の原子炉開放作業において、以下の不具合が確認されました。

1. 原子炉ウエルのコンクリートハッチがのっていた箇所(2・3段目のひな段)の表面(ほぼ全周)に接触痕を確認 (図:A)
  2. 原子炉格納容器ベローズ\*保護カバーの固定ボルト(36本中5本)の折損を確認 (図:B)
  3. 原子炉圧力容器ベローズ保護カバーの固定ボルト(24本中1本)の折損を確認 (図:B)
- 折損した計6本のボルトのうち1本は回収できていませんが、設備の構造上、原子炉内に入ることはありません。  
○確認された不具合は、設備の健全性に影響を与えるものではありません。

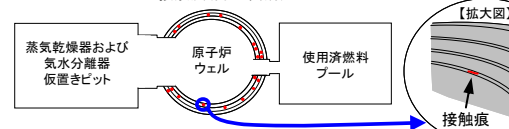
\*ベローズ 原子炉建屋と原子炉格納容器の間、また、原子炉格納容器と原子炉圧力容器の間にあり、それぞれの熱による膨脹を吸収するとともに原子炉ウエル水のシール機能をあわせ持った金属製の伸縮部材。



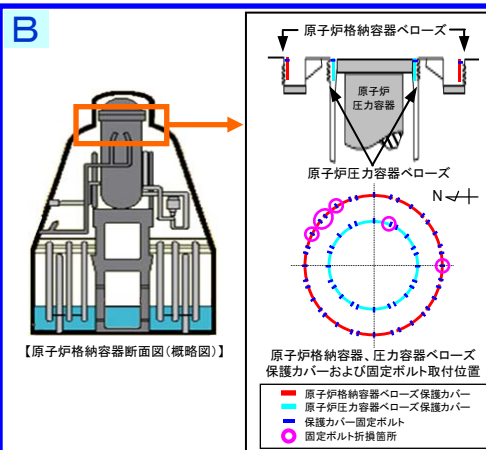
接触痕の様子  
(平成26年5月17日撮影)

### 【原子炉ウエル\*概略図】

● 接触痕(計19箇所)



\*原子炉ウエル 原子炉圧力容器および原子炉格納容器の蓋を設置している空間で、燃料移動を行う際には、この空間を満水状態にする。



ベローズ保護カバー取り外しの様子



固定ボルトのネジ部分が折損し、取付部に残っている



回収した保護カバー固定ボルト

保護カバー固定ボルト折損状況

# <参考>原子炉開放の流れ

